

組合員全員参加でつくり上げた2017春季生活闘争のあゆみ



▲要求申入れを行う中央闘争委員会メンバー



▲春闘前哨戦として2月11日にJR京都駅ビル大階段駆け上がり大会が開催された

2月2日(木) JR連合 第29回中央委員会を開催し、方針を決定

- ベアを含めた「月例賃金総額6,000円以上の引き上げ」
- ワーク・ライフ・バランス実現に資する要求項目を盛り込む
- 非正規社員の「時間給引き上げ」「均等待遇の実現」

2月6日(月) JR西労組 第35回中央委員会を開催し、方針を決定 ①

ベースアップ3,000円、年間臨給5.7ヶ月、ベアと諸手当をあわせて月例賃金総額6,000円以上の引き上げを柱とした春闘方針を確認

2月7日(火) 春闘要求を会社に申し入れ ②

荻山委員長は「ベアはもちろん、年間臨給についても、組合員・家族への公正な配分を求めると力強く述べた。

2月11日(土) 第20回JR京都駅ビル大階段駆け上がり大会を開催 ③

2017春闘の前哨戦として、JR京都駅ビル大階段駆け上がり大会が開催された。

2月13日(月) 要求の趣旨説明

要求内容についてその根拠となる趣旨を説明、基準昇給が実施されるものと判断

2月15日(水) 賃上げ・年間臨給などを交渉

ベア3,000円、年間臨給5.7箇月を求めて交渉を行う。

2月21日(火) 契約・シニア・シニアリーダー社員賃上げ、同一労働同一賃金など交渉

時間給単価の引き上げ、精勤・精励手当の増額、各種手当などについて交渉

2月23日(木) 育児・健康・福利厚生関係項目について交渉

確定拠出年金の導入、扶養手当見直しなどについて交渉を行う。

2月28日(火) 諸手当の改善について交渉

営業部会、運転部会、工務部会、間接部会の代表者とともに、職務手当、割増賃金、災害時等の交通費支給などについて交渉を行う。

3月7日(火) JR西労組・JR西日本連合・JR連合近畿地協 春闘総決起集会 ④

375枚の檄布に囲まれた会場において、JR連合近畿地方協議会、JR西日本連合の仲間450名とともに春闘総決起集会を開催した。ベアにこだわり、グループ労組への相乗効果を重視した闘いを最後まで粘り強く展開することを確認

3月8日(水) すべての要求項目について、再度会社と総括的に議論

再度強い思いを会社に伝えるとともに、3月15日以降速やかに回答することを会社に求める。

3月10日(金) 地本代表者会議を開催

15日の集中回答日を翌週に控え、各地本代表者は、中央闘争委員会に対し、要求の満額獲得にむけて改めて強い要請を行った。

▶ベアにこだわって闘い抜く決意を確認した地本代表者会議

3月14日(火) 地本代表者会議を開催 ⑤

JR連合から松岡会長が出席し、他産別・単組の動向について報告を受けるとともに、各地本代表者は最後までベアにこだわった闘いを貫くよう、中央闘争委員会に改めて強い要請を行った。

3月15日(水) 会社からの回答を受けて交渉、席上妥結 ⑥

会社回答を受け、最後の最後までベアにこだわって交渉を行い、純ベア750円、年間臨給5.44ヶ月をはじめとする成果を勝ち取り、席上妥結した。

3月22日(水) 宮島フェリー支部 妥結

ベア1,000円、年間臨給5.44ヶ月(宮島フェリー社員)、5.24ヶ月(出向先基準社員)、年度末一時金100,000円をはじめとする成果を勝ち取り、席上妥結した。

3月24日(金) 広島病院支部 妥結

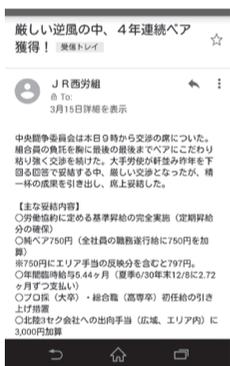
基準昇給の実施、年間臨給4.0ヶ月、一時金50,000円をはじめとする成果を勝ち取り、席上妥結した。



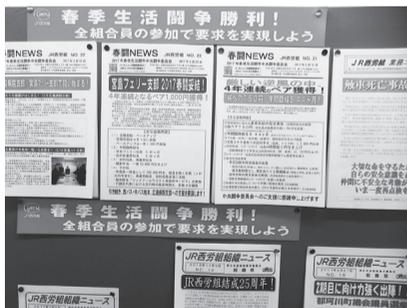
▲組合員の切実な思いが詰まった檄布・檄紙が中央闘争委員会に届けられた



▲各地本・総支部から届いた檄布は、中央闘争委員会の執務室と会議室を埋め尽くした



▲今回も、「春闘の見える化」をすすめ、交渉や地本委員会などの開催をその都度ダイレクトメールで発信した(3月末現在20通発信)



▲各分会の掲示板にも、分会執行委員によりリアルタイムに春闘NEWSが掲出された



この間の運動の推進と中央闘争委員会へのご支援に感謝申し上げます。
両バス地本およびJR西日本連合のグループ労組の要求実現に向けて、
相乗効果を発揮して取り組みを強化しよう!!